

かほく市立高松中学校 学校便り

《校訓》「責任を果たせ 自主・協同・奉仕」

さわやか



第 8 号 令和6年11月5日発行

□ メタ認知能力 もう一人の自分

校長 塚田 秀和

11月の全校集会の話です。運動会、文化祭を終えて、落ち着いて学習に向かう時期になりました。1日(金)文化祭のFT発表は「学ぶことの面白さ」が感じられた素敵な発表でした。「学ぶことの面白さ」つまり、分からないことが分かった時、新しい知識が入ったり、知識と知識が繋がったりした時に面白い、気持ちがよいと感じる経験を想起させるものでした。

私は、これからの時代を生きる若者に必要な力は「学び続ける力」と「発信する力」と思っています。特に3年生は、FTの探究学習を通して、この2つの力を学んでいることに、気づいた人もいます。それは、3年生が2年生に学習成果を発表したときの「2年生の質問に対する3年生の答え」に表れていたからです。3年生が2年生に伝えてくれたことの一部を紹介します。

(質問)「どんなことが身についたと思いますか」

(回答) → 分かったことから→次にどうつなげるか 学習と疑問はつながっていく

→ 探究を進めていくにつれて、もっと知りたい!が出てきて、次のなぜを見つけるきっかけになった。

→ どのような方法でまとめられるか、相手を考えて、伝え方を考える力

最初と2番目の回答は「学び続ける力」を、3番目の回答は「発信する力」を指しています。3年生は、この探究学習を通して、「学び続ける力」と「発信する力」が、身についたと答えているのです。

今月のテーマを「メタ認知能力 もう一人の自分」としました。「メタ認知能力 (Knowledge Monitoring Ability)」とは「認知を認知すること。Knowing what I know. (私が知っているということを知っている)、Understanding what I understand. (私は理解しているということを理解している)」と紹介されており、この力が高いと問題や課題を解決する力が高いと言われています。私は自分なりに「メタ認知能力」を「自分自身を俯瞰し、客観的に評価できるもう一人の自分をつくる力」と解釈し、これからの若者に必要な力の「学び続ける力」と「発信する力」の間に入るものと考えています。

3年生の探究学習もテーマ設定から、成果発表に至るまで、最初から順調に進んだわけではないはず。自分事として捉えられるテーマ探し、探究を進める際は、専門的な知識の獲得と現状把握等のバランス、思いを受け取ってもらえるような発信方法やストーリーの作成など、学び続けるほど、課題や困難が出てきます。その課題や問題解決につなげるのが「メタ認知能力」です。自分の中のもう一人の自分が、思い描いたゴールへの道筋の中での現在位置を確認し、目標とのズレを認識し、解決の方法を探り元の道へ戻していくのです。

しかし「困った、困った」「どうせ、できんし」「無理やし」という感情を持ったままでは「もう一人の自分」は現れません。穏やかでないと自分の姿は見えてこないし、解決策も見つからないことを付け加えます。

「メタ認知能力」について知りたい人に向けて、あてはまる項目に○をつけて「メタ認知能力を測る9項目」(右図)を校長室前に置きました。今は、○がつかなくても構いません。「メタ認知能力」を身に付けるには「こんなことをしたら、いいのかな」ということが分かってくれたら嬉しいです。

＜メタ認知能力を測る9項目＞		当てはまるものに“○”をつける
	設 問	
1	自分が用いる方法が、どのような問題解決のときに、最も効果的なのかを知っている。	
2	どのような方法が有効か、十分考えてから課題に取り組んでいる。	
3	問題の中の重要な部分に、意図的に注意を向けている。	
4	自分がどの程度よく理解できているか、判断できている。	
5	問題が解けたとき、自分がどういう方法を用いたか分かっている。	
6	問題に取り組んでいるときに、うまくいっているか進み具合を、定期的に自分でチェックしている。	
7	勉強するときは、その目的に合わせて方法を実践している。	
8	勉強したり、課題を行ったりするときには、計画を立てている。	
9	考えが混乱したときには、立ち止まり、元に戻って考えてみる。	

□ 11月1日(金) 文化祭 スローガンは「STAND BY ME」

「STAND BY ME」のスローガン「一人一人がみんなに寄り添って、みんなが主人公になれるように」のもと開催されました。保護者の方々には、本校での「学びの姿」をご覧いただきました。ありがとうございました。



○ 合唱コンクール 最優秀賞

	曲目	指揮者	伴奏者
1年3組	Believe	葛葉 乃千	兼田 光莉
2年2組	With You Smile	安江紗梨奈	入澤 玉妃
3年3組	群青	麻生 陽優	宮本きらり

学校行事、日々の様子をホームページに掲載しています。写真もあります。ぜひ、ご覧ください。

<https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/takamj/>

○ 学習成果発表会 発表者（発表順に）

1	メスキルヒ市との姉妹都市交流	寺内 智生（3の3） 赤崎心優菜（2の1） 川端 紗奈（2の2）
2	世界各地の人々の生活と環境レポート	南出 志彩（1の1）
3	「鶴 彬」から読み解く日本の歴史	寺内 悠夏（1の2）
4	形と色の挑戦～感情を表す抽象作品～	井上こころ（2の1）
5	“Animal on the Red List”	桶谷 柚菜（3の1）
6	少年の主張「ありのままの自分」	大多 遼（3の2）



□ 11月の主な行事

6日(水)	3年生 第2回郡市統一テスト、1年生 星稜大学レクリエーション 2年生 ふるさと学習（西田幾多郎哲記念学館）・進路講演会
7日(木)	石川県中学校駅伝大会 於 うのけ総合公園陸上競技場
8日(金)	河北郡市中学校音楽会（午後） ※ 3の2 出演
11日(月)	3年生 市長による特別授業「かほく市のまちづくり」 生活プランニング実強化週間（～17日）
12日(火)	3年生 球技大会（午後）、2学期末テスト範囲発表
14日(木)	社会テスト、避難訓練、部活動停止期間（～22日） 学校運営協議会、PTA 給食試食会
15日(金)	南極講演会（午後） 講師：北陸ミサワホーム(株) 坂下 大輔 氏 ノーメディア期間（～21日）
19日(火)	※ 小中連携の取組として、中学校のテスト期間に合わせ「ノーメディア期間」を設定しています。ご家庭においても、ご協力の程よろしくお願ひします。
21日(木)	2学期末テスト（～22日）3年生 進路説明会（午後） 2年生 思春期講座（午後） 講師：星の子助産院 坂谷 理恵子 氏
25日(月)	1年生 音・美スタート ※ 音・美・FTの時間割が、音・美になります
26日(火)	1年生 進路講演会（3限） 講師：金沢高校校長 杉浦 外美夫 氏
27日(水)	専門プログラム委員会
28日(木)	数学テスト
29日(金)	生徒議会

